

編集後記

我が國の現状は、複雑な國際問題をも反映して、獨立前夜の慌たゞしい様相を呈しています。獨立を契機として我が國の眞の建直しをするべく、國會を中心とした劇しい論争が行われています。凡ての制度、機構に厳しい反省、再検討が行われる結果として、終戦後大きく揺れたベンダルの揺り直しとも見るべき、所謂復古調の萌しが見えかけています。社會の動きに進退は常ですが、結果として何らかのプラスを齎らす動きが望ましいと思います。

ここ數年間に於ける我が國の病院の進展には顯著なものが見られますが、もともと零に近い程度から出發し、漸く今日軌道に乗り始めたというのが偽らぬ實態でありませう。この歩調を緩めることなく獨立後も前進を續けたいものです。

病院を廻る問題で、今後の解決に俟たねばならぬものが尠くありません。一時世間を騒がせた社會保險單價の問題は、今日一應小康状態を保持しているとはいふものの、醫師會幹部の改組とも相俟ち、やがて再燃する運命にあることは容易に察知し得られる處です。又多年の懸案であつた入院料については現在の段階としてその努力を多とすべきではあるでせうが、尙今後に解決を要する點を残しています。この邊の経緯について、千種氏、岩田氏の詳細な所論が御参考になると思います。併しこれらの問題は、結局醫療費の問題に歸着するので、厚生省では3月中に必要な調査を計畫している。何れ誌友各位にも御協力を求められることになりませう。

我が國の醫療制度については本誌上に於て從來屢々論及せられた處ですが、これと關連して病院の在り方ということについて、此際もう一度反省、再検討して見たいと思います。これは結局、開業醫の在り方、開業醫と病院との關係という所迄行くと思います。米國の大學、病院、開業醫等について視察を終え、舊臘歸朝された久松氏が、氏獨特の鋭い洞察力を以て、米國の病院が如何に米國社會そのものとピッタリした存在になつていゝかということについて述べられています。我が國の病院の今後の進む方向について示唆を與えられた様な氣がします。又毎日の大川氏は、局外者即ち病院を外から眺める民衆の立場から公平な批判を下されている。私共はこの様な民衆の中からの切實な聲にもつともつと接したいと思います。お馴染の山元氏に、今回は病院の防火対策を取上げて頂いた。最近特に、病院醫科大學等の火災が頻發している。火災シーズンに際し、參考になる向が尠くないと思われまふ。

フリーメーソンの寄贈による鐵の肺第1號が、東一に入つた。我が國の病院で、鐵の肺が正式に設備された最初のものです。これによつて今後多くの尊い人命に起死回生の幸が齎されるとすれば、この日は我が國の病院として記念すべき日となるでせう。(編者誌)

—— 表紙説明 ——

寫眞は、新裝なつた慶應病院呼吸器病棟。

最新寄生虫病學 [全6冊] 森下薰編集

理學博士・醫學博士

- | | | | |
|---|------------------------------|----------------------------|-------------|
| 1 | 日本の寄生虫病
鏟虫の生物學と治療 | 阪大教授 森下薰
日醫大教授 赤木勝雄 | 220
(20) |
| 2 | マラリヤ原虫の赤外發育に關する最近の知見肺吸虫及肺吸虫症 | 元臺灣大教授 横川定 | 180
(20) |
| 3 | 鉤虫病の病理と治療
蛔虫症の疫學と臨床 | 山口大教授 江口季雄
大阪醫大助教授 岩田繁雄 | 200
(20) |
| 4 | 寄生虫のレントゲン診斷
肝吸虫症の豫防と治療 | 大阪醫大北里研 柴田・細川
長野寛治 | 250
(20) |
| 5 | アメーバ赤痢の發症と治療
顎口虫症 | 慶大教授 松林久吉
東大教授 北村包彦 | 300
(20) |

總目錄贈呈

日本醫學雜誌株式會社 株式會社 醫學書院 合同會社

醫學書院

東京本郷局
私書函第5號

本社

東京都文京區本郷6/20・振替 東京 96693
電小石川(85)0741・1201・1470・1773・4078・4079

分室

東京都文京區駒込林町172
電話 駒込(82)0714・1605